

研究教育業績（過去5年間）

I. 研究業績

1. 主な発表論文

[原著論文] (査読なし)

- 1) 小林力, 終戦前後の出版状況:「薬学雑誌」「科学」「医学のあゆみ」を中心に, 薬学図書館, 65, 140 - 147 (2020).
- 2) 小林力, 戦時中の「科学」と「有機合成化学協会誌」を読む, 薬学図書館, 65, 92 - 97 (2020).
- 3) 小林力, 田辺三菱製薬・戸田事業所と薬学雑誌, 薬学図書館, 65, 56 - 62 (2020).
- 4) 小林力, サルファ剤の発見とその影響, 薬史学雑誌, 54, 13-18 (2019).
- 5) 小林力, バーチャル心筋・膵臓細胞を用いた卒業研究の実際, 日本薬科大学教育紀要, 4, 31-35, (2018).

2. 主な学会発表、講演

[国内学会]

- 1) 小林力, スモン=キノホルム薬害説に対する懐疑的検証: 当時の国の調査書を再読して, 日本薬学会, オンライン, 3月 (2021)
- 2) 小林力, スモンの原因はキノホルムだったのだろうか, 日本薬学会, 京都, 3月 (2020)
- 3) 小林力, 製薬企業・図書室の蔵書大処分, 日本薬史学会, 岐阜, 10月 (2019)
- 4) 小林力, 戦中戦後、混乱する医学薬学雑誌の出版状況, 日本薬学会, 千葉, 3月, (2019).
- 5) 小林力, サルファ剤・忘れられた奇跡とその影響, 日本薬史学会, 新潟, 10月 (2018).
- 6) 小林力, バーチャル細胞を用いた薬科大学卒業研究, 日本薬学会, 金沢, 3月, (2018).
- 7) 小林力, サルファ剤はいつ日本に入ってきたか, 日本薬史学会, 埼玉, 10月, (2017).

[その他]

- 1) 小林力, 廃棄された明治期「薬学雑誌」や戦前「科学」を拾い読み, 薬学図書館協議会関東地区協議会, 埼玉, 11月 (2019)
- 2) 小林力, セレンディピティを生む組織と風土, アスピオファーマ社, 神戸, 4月, (2017).
- 3) 小林力, 素人が本を出版するまで: 趣味の翻訳入門, 東京和敬談論会, 東京, 5月, (2016).

3. その他特筆すべき研究業績

なし

II. 教育業績

1. 担当授業科目

2020年度

- 1) 内分泌・生殖器・感覚器・皮膚疾患と薬 (薬学科4年)
- 2) 信頼関係の構築 (薬学科2年)
- 3) 薬理学 II (医療ビジネス薬科学科さ、2年)

- 4) 疾病と治療薬 II (医療ビジネス薬科学科さ、2年)

2019年度

- 1) 内分泌・生殖器・感覚器・皮膚疾患と薬 (薬学科4年)
- 2) 信頼関係の構築(薬学科2年)
- 3) 薬理学 II (医療ビジネス薬科学科さ、2年)
- 4) 疾病と治療薬 II (医療ビジネス薬科学科さ、2年)

2018年度

- 1) 内分泌・生殖器・感覚器・皮膚疾患と薬 (薬学科4年)
- 2) 信頼関係の構築(薬学科2年)
- 3) 薬理学 II (医療ビジネス薬科学科さ、2年)
- 4) 疾病と治療薬 II (医療ビジネス薬科学科さ、2年)

2017年度

- 1) 薬理学 IIIB (薬学科4年)
- 2) 信頼関係の構築(薬学科2年)
- 3) 薬理学 II (医療ビジネス薬科学科さ、2年)
- 4) 疾病と治療薬 II (医療ビジネス薬科学科さ、2年)

2016年度

- 1) 薬理学 IIIB (薬学科4年)
- 2) 薬理学 II (医療ビジネス薬科学科さ、2年)

2. その他特筆すべき教育業績

- 1) 薬学体験学習 (2018 - 2020)